

特殊診療施設

# 顎顔面口腔再建治療部

TEL 022-717-8581 (外来)



部長  
小山 重人 特命教授



診療科WEB



外来担当医表



## 地域の先生方へ

顎顔面部に欠損をお持ちの方で診療を希望される方は、かかりつけの先生の紹介状をお持ちになって、顎顔面口腔再建治療部の新患を受診なさってください。

顔面補綴治療(エピテーゼ)は自費診療となります。

## 診療内容

顔面口腔再建治療部では腫瘍手術や外傷、先天性疾患などによって、口腔を形作る骨や組織、顔面の一部を失った方を対象に、その機能と形態および審美性を回復する顎顔面補綴治療を専門に行っています。顎顔面補綴には、顎骨の欠損部を非観血的にあるいは手術等の併用により人工物で補填する顎補綴(顎義歯)と、顔表面を含む実質欠損部を補填修復する顔面補綴(エピテーゼ)があります。最近ではインプラント義歯である「広範囲顎骨支持型装置及び広範囲顎骨支持型補綴」が保険導入されたこともあり、顎顔面欠損患者に積極的に歯科インプラントの適用を図っています。

医歯境界領域の専門診療チーム医療である嚥下治療センターにおいては、頭頸部腫瘍術後(舌接触補助床(PAP)や顎義歯で患者介入)の摂食嚥下・リハビリテーションに取り組んでいます。顎義歯は患者口腔内形態を回復することができ、PAPは舌の口蓋への接触を容易にする装置で、これら特殊補綴装置を適用することにより、嚥下機能の改善を図っています。

## 得意分野

- 上顎顎補綴装置(顎義歯、オブチュレータ、閉鎖床)を用いた顎補綴治療
- 下顎顎補綴装置(顎義歯、インプラント義歯)を用いた顎補綴治療
- デジタル歯科診療(口腔内スキャナー、マッチングシミュレーション、3Dプリンタ、ガイドドサージェリー用ステント)を応用した顎骨再建補綴治療
- 広範囲顎骨支持型装置及び広範囲顎骨支持型補綴
- 口唇口蓋裂補綴治療
- 舌接触補助装置(PAP)、軟口蓋挙上装置(PLP)を用いた摂食嚥下治療
- スピーチエイドを用いた発音治療
- 顔面補綴装置(エピテーゼ)を用いた顔面補綴治療
- 放射線治療補助装置

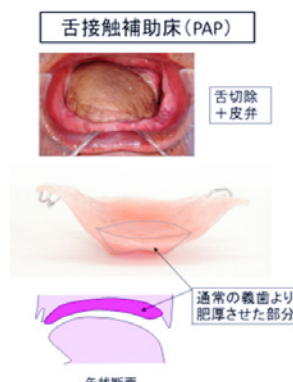


## 主な対象疾患

- 先天性、腫瘍手術、MRONJ、外傷による  
歯・顎欠損
- 先天性、腫瘍手術、外傷による顔面欠損  
(目、耳、鼻、指など)
- 口唇口蓋裂
- 摂食嚥下障害



顎義歯と舌接触補助床例



矢状断面